

お詫びと訂正

ビジネス会計検定試験の公式テキストに記述の誤りがございましたので、お詫びして訂正申し上げます。

ビジネス会計検定試験2級公式テキスト（第2版）訂正一覧表

ページ	修正前	修正後
第13刷(2010年6月30日発行)まで		
p. 9 コラム	譲渡制限がかかっている株式が1株でもあれば、その会社は公開会社ではありません。	譲渡制限がかかっていない株式が1株でもあれば、その会社は公開会社です。
p. 58 (為替換算調整勘定)	貸借対照表 (3か所とも)	連結貸借対照表 (3か所とも)
p. 64 図表4-1	負ののれん償却額 ××× ×××	(削除)
第7刷(2010年1月15日発行)まで		
p. 27 図表2-5	税金等調整前当期純利益	税金等調整前当期純損益
p. 51 (リース債務)	リース利息相当額の合理的な見積額を控除した金額	利息相当額の合理的な見積額を控除した価額
第4刷(2009年5月20日発行)まで		
p. 36 下から5行目	償却原価法とは、金融資産・負債	償却原価法とは、金融資産・金融負債
p. 42 図表3-8(リース資産)	リース契約締結時に合意されたリース料総額からこれに含まれているリース利息相当額の合理的な見積額を控除した金額	リース契約締結時に合意されたリース料総額からこれに含まれている利息相当額の合理的な見積額を控除した価額
p. 43 下から7行目	このように投資の回収ができなくなった状態	このように投資の回収が見込めなくなった状態
p. 45 のれん	親会社の投資(子会社株式)の金額とこれに対応する子会社の純資産の金額を相殺消去する際に生じる差額で、親会社の投資額が子会社の純資産の金額を	親会社の投資(子会社株式)の金額とこれに対応する子会社の資本(株主資本、評価・換算差額等および評価差額)の時価評価額を相殺消去する際に生じる差額で、親会社の投資額が子会社の資本(株主資本、評価・換算差額等および評価差額)の時価評価額を
p. 57 7～8行目	別途積立金など)、当期純利益、および前期からの繰越利益の合計である繰越利益剰余金などから構成されます。	別途積立金など)と、当期純利益と前期からの繰越利益から期中の配当額等の変動額を控除した額との合計である繰越利益剰余金から構成されます。
p. 58 2～3行目	売買目的でない資産の評価にあたってその評価額が時価によることとされている場合、および「土地の再評価に関する法律」に従って土地が再評価された場合、	売買目的でない資産の評価にあたってその評価額が時価によることとされている場合や、および「土地の再評価に関する法律」に従って土地が再評価された場合などには、
p. 60 3行目	この場合、子会社の純資産	この場合、子会社の資本(株主資本、評価・換算差額等および評価差額)